



宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

こんにちは議会です。

Topics

3月定例会(3月6日~3月22日)

町政を問う一般質問(9名)

シリーズ お隣さん、元気~上米・中米~

表紙写真:上米公園

No. **71**

平成25年5月15日号

平成25年新年度予算決まる

緊急経済対策予算で町の活性化につながるか



平成25年度の施政方針を述べる木佐貫町長

施政方針表明

これまで、「自立と協働で創る元気なまち みまた」をスローガンに様々な施策を進めてきた。後半の任期については、施策の継続のみならず、今後の2年は中長期を見込んで

3月定例会

町議会では3月議会を、3月6日から3月22日までの17日間で開催した。今回の議会に上程された議案は45議案、意見書1件、報告1件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し、審議した。議案の主なもの、条例の制定及び改正等25議案、25年度新年度予算及び24年度補正予算が20議案となっている。全ての議案が賛成多数及び全会一致で可決した。一般質問は9人。地元産業の活性化、教育問題（いじめ問題）、農業問題や子育て支援など三股町が抱える様々な問題について白熱した議論が展開された。

だ「アグレッシブタウン構想」の策定等、新たな町の目標を掲げ、身の丈にあった行財政運営に心がける。町民の目線、感覚で町民参加のもと、活力と魅力あるまちづくりに取り組む。（抜粋）

※「アグレッシブタウン構想」とは、いつでも、低廉で、

気軽に利用できる体育・健康施設の整備を行い、人の交流を盛んにし、活力にあふれ「自立と協働で創る元気な町みまた」を創造すること

新年度予算92億円

平成25年度の歳入歳出予算額は、92億円で、対前年度比7.2%、6億2千万円の増



当初予算の議会日程を提案する議会運営委員長

都城地域健康医療ゾーン整備事業として1億6千9百万円、グリーンセンター整備事業、4億1千5百万円等がある。地方債について、一般廃棄物処理事業債のほか、総額で13億1千2百万円の借り入れを予定している。緊急経済対策に盛り込まれたものもあり減額補正する予定がある。本会議審議結果 賛成多数で可決

	25年度予算額	対前年度比
一般会計	92億円	7.20%
国民健康保険事業会計	31億4,528万円	4.10%
後期高齢者保険事業会計	2億1,672万円	△3.20%
介護保険事業会計	19億7,362万円	4.20%
介護保険サービス事業会計	1,241万円	1.00%

	25年度予算額	対前年度比
梶山地区農業集落排水事業会計	4,290万円	0.01%
宮村南部地区農業集落排水事業会計	3,739万円	7.70%
公共下水道事業会計	3億1,158万円	△18.1%
特別会計合計	57億3,990万円	2.30%
水道事業会計	3億8,626万円	7.39%
全会計合計	153億2,616万円	5.33%



新たな旅立ち（三股中学校卒業式）

緊急経済対策予算

平成24年度

三股町一般会計補正予算

国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に伴い、本町が実施する防災関連事業及び暮らしの安心、地域活性化に係る事務事業に補助金等の交付内示を受け補正を行う。

歳入歳出予算の総額に6億9千4百万円を追加、予算の総額は96億1千2百万円となる。

委員会審議において

附帯意見

駅前広場整備事業の工事の中の時計塔改修費が、あまりに高い時計塔ではないか、町民感情からして、納得を得られる様なものにするべきではないか、という意見があった。

本会議審議結果

賛成多数で可決

**20件の条例
制定・改正・廃止**

三股町インフルエンザ等対策本部条例他19件
地方分権による基準関係の条例を制定

本会議審議結果

全会一致で可決

指定管理者の決定

施設名

三股町在宅デイ・サービスセンター

指定管理団体名

社会福祉法人三股町社会福祉協議会

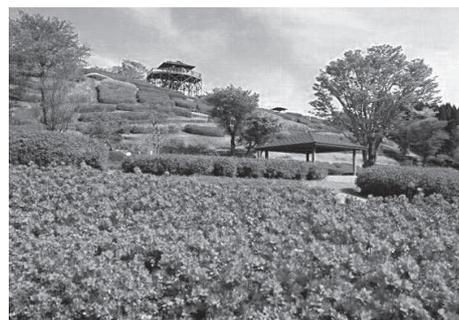
意見書

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書 採択

関係機関の長へ提出

現地視察

上水道整備事業
水道水の安定供給を目的に、新たに中央浄水場構内に1千立米のタンクを二基設置予定している。



椎八重公園



議会の更なる改革を目指して

議会新体制決まる



山中 則夫 議長

このたび、不肖私が議長に就任しました。浅学非才な私にとりまして、今回三度目の議長ということで身の引き締まる思いであり、その責任の重さを痛感しております。

今後、私の政治信条である「町政は町民の為にある」という町政の原点にたち、「町民感覚の町政」を実現する為に町民の皆様にわかりやすい議会を目指していきます。さらに議会運営につきましては、不偏不党・公正無私の立場を堅持してまいります。

全議員立場は違っても、これからも町勢発展の為に活動してまいりますので、御協力・御指導よろしくお願い申し上げます。



上西 祐子 副議長

臨時議会が5月1日に開催され、正副議長及び監査委員の選挙が行われました。
また、各常任委員会委員も新に決定しました。

12人の新役員が決定

議長に山中議員が再任

議会運営委員会

委員 福永 廣文
副委員長 佐澤 靖彦
委員 池邊 美紀
委員 内村 立吉
委員 指宿 秋廣

議会運営に関する事、議会の諸規則に関する事、議長の間に関する事項について審議または協議します。

一般会計予算・決算常任委員会

委員 池邊 美紀
副委員長 桑畑 浩三
委員 佐澤 靖彦
委員 堀内 義郎
委員 内村 立吉
委員 福永 廣文

一般会計の予算及び決算に関する事項を審査します。

委員 指宿 秋廣
委員 上西 祐子
委員 大久保 義直
委員 重久 邦仁
委員 池田 克子

広報編集常任委員会

委員 堀内 義郎
副委員長 池田 克子
委員 佐澤 靖彦
委員 福永 廣文

議会広報紙の編集及び発行に関する事項を担います。

建設文教常任委員会

都市整備課、産業振興課、環境水道課、教育課及び農業委員会の所管に関する事項を審査します。



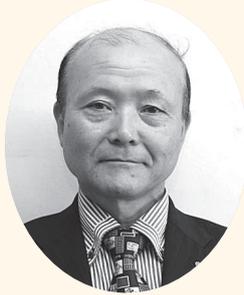
副委員長 堀内 義郎



委員長 内村 立吉



委員 上西 祐子



委員 福永 廣文



委員 桑畑 浩三



委員 大久保 義直

総務厚生常任委員会

総務課、地域政策室、税務財政課、福祉課、町民保健課、会計課、議会事務局、及び選挙管理委員会に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。



副委員長 池邊 美紀



委員長 佐澤 靖彦



委員 重久 邦仁



委員 指宿 秋廣



委員 池田 克子

(議会選出監査委員)



「教育長の選任・辞任について 対応に問題はなかったか」



上西 祐子 議員

町長 町民の皆さんに多大なご心配、ご迷惑をかけた。今後選任にあたっては慎重に対応する

問

学校教育でも一般社会でもいじめ・体罰や暴力・パワーハラスメントは許されない。この行為は暴力行為であり重大な人権侵害である。町長はいじめなどに対してどのような認識をもっているか伺う。

町長

いじめ・体罰・パワーハラスメントについては、心理的・物理的に不当な苦痛を与えることにより基本的人権を侵害するもので決して許されるものではないと考える。

問

本町で教育長のパワハラ行為が明るみになり、その後一身上の都合により教育長を辞任されたが、町長は今回の件をきちんと検証し、二度とこういう事態が起こらないために選任のあり方、不祥事が起きた時の対応のあり方など明確にする必要があるのではないか。

町長

前教育長の行為がマスコミ報道で取りあげられ、議会や町民の皆様に多大なご心配をかけた。職場でのパワハラについては、働く人の尊厳や人格を傷つけるのみならず、関係者や職場にも大きな損失をもたらす。

今後はハラスメントに関する対処方法を明確にし、一層の取りくみを進めたい。選任にあたって関係方

面への調査を十分に実施するなど慎重に対応したい。

生活保護基準の見直しで、影響が及ぶ制度はどのようなものがあるか

問

安倍政権は本年度予算案で生活保護費の削減を打ち出し、毎月の生活費である扶助費を8月から3年間で6・5%減額する計画と聞く。保護基準の引き下げは低所得者の暮らしを支えている他の制度にも影響があると思うが、本町の場合、生保基準額をベースにして決められている制度はどのようなものがあるか伺う。

町長

保育料、介護保険料等は住民税と連動し、非課税世帯は優遇措置がある。この非課税限度額は生活保護基準を考慮して決めている。

問

小中学生への学用品代や給食費等を支給する就学援助制度も影響すると思うが、本町ではどの位の児童が受けているのか伺う。

教育課長

就学支援を受けている要保護児童は20件、準保護児童は253件である。

問

保護基準が下がることによりサービスが受けられなくなる人もいると思うが、その救済策を考えているか。

町長

県の福祉保健部からの文書で平成25年度中の対応にあたっては、生活扶助基準の見直しに伴い、特に困窮している方が出てきた場合は、市町村の権限で判断し、無料にするなどの扱いができるなどの指針が示されているのでこれを参考に対処する。



「増加する起債、三股町財政は大丈夫か 単独で進む三股町の今後の財政見通しは」

町長 厳しいが、町民と 対話しながら進めていく



池 邊 美 紀 議員

問

医師会病院やゴミ処分場などで起債が大きく、扶助費の割合も大きくなり、中期財政シミュレーションでは平成29年投資的経費が現在の半分になるようになっていくが三股町の財政と行政サービスはこのままで大丈夫なのか

町長

財政状況は起債の増加、地方交付税の抑制や扶助費の増加により平成28年度以降は基金残高の減少や財政の硬直化が進むと予想される。職員の地域への愛着を醸成しサービスを低下させない努力をしていく。「自立と協働で創る元気なまち三股」を目指し町民と一体となったまちづくりを進めていく。

アスリートタウンについて

問

年次の計画と、総合体育館の可能性、植木地区体育館の計画は

町長

平成23～27年5年間の三股町スポーツ基本計画を定め「みんなで築く生涯スポーツのまち」をスローガンに掲げている。総合体育館は、住民満足度や利用状況を踏まえ、現状の形態で施設充実を高めていきたい。西部地区体育館は平成23年度2千万円を積み、平成26年設計27年

度建設を目指す。

問

特別強化種目を定めてバックアップしてはどうか

町長

例えば、国体のメイン会場となるような特殊事情があればそれもあるが、誰もが取り組める環境づくりを行っていく。

五本松住宅の計画について

問

五本松住宅のエリアは都市市から来ると、三股町の顔と

町長

いっても良い場所。長期的な視点に立ち町全体のランドデザインの中で将来性を見据えて開発すべきではないか。総合体育館に適していると思うがどのような考えか

町長

老朽化が進んでいることから検討を重ねてきた。移転は、約18億円かかる予想。総合体育館の他に商業施設、分譲住宅という意見もある。町としては多大な出費が予想されるので、それらを含め町の財政状況を踏まえながら検討していく。

害獣被害について

問

イノシシの被害が多いが現状と対策は。

町長 害獣被害は相当な被害で深刻な状況。三股町有害鳥獣対策協議会を設置し駆除隊も結成され駆除捕獲を行っている。現在箱ワナが8台ある。

問

害獣被害が出る前に予防的な捕獲は出来ないか

産業振興課長

現在の規約では予防駆除はできない。

要望

箱ワナを増やし駆除を進めると同時に、規約を見直し予防駆除ができるように対応すべき。



イノシシ罠

「自主、自立を選択した 本町の取り組みは」

町長 行政と住民が一緒になった まちづくりをすすめる



内村立吉 議員

問

平成11年から平成17年を主に平成の大合併が行われました。町長の施政方針を述べられたのですが、今後財政負担に伴う課題、そして全く不透明な状況である。このようなことに対してどのように考えておられるか伺う。

町長 本町は平成15年度に自主自立の道を選択し、平成16年度行政改革大綱の改定を行った。その結果、定員適正化計画に基づき平成17年度に大課制を導入し、定員適正化を達成した。行政と住民が一緒になったまちづくりに取組んでいき、身の丈にあった行政運営を行なっていく。

税金の滞納問題は

問

税金の滞納額について平成23年度までの町税などの滞納額が3億6000万円である。あまりにも多い滞納額となっている。支払い能力があるにもかかわらず、納付しない人がいる。収納対策本部が設置されたが効果があったか、この内容について伺う。

町長 町税等収納対策本部の取組として、三股町債権管理適正化指針を策定し、債権管理及び回収方法の統一化と全庁的に取り組む内容を明示

し実施してきた。町税やその他の債権において、徴収実績の改善が見えつつある。

自治公民館加入の状況は

問

自治公民館加入について、以前から質問がなされているが、人口増に対しての加入はどうか。

町長 近年、自治公民館活動に無関心な人が多くなってきた。自治公民館に加入しない人が増え、さまざまな活動に支障がきたすことが多くなってきた。引き続き、自治公民館と連携しながら、加入促進に取り組んでいく。

は 地方公務員の人件費の対応

問

地方公務員の給与水準について、引き下げを地方に要求しており地方交付税を減らす方針を決めている。

各自治体は国による押し付けとして反発している。本町としてどのように考えるか。

町長 他の市町村の動向をみながらやっていく。

パークゴルフ場の今後は

問

平成23年9月陳情をふまえてパークゴルフ場はどうするか。

町長 本件は多額の財政負担を伴うことから来年度策定するアグレッシブタウン構想の中で、方向性を示すことができればと考えている。

部活動と体罰の調査は

問

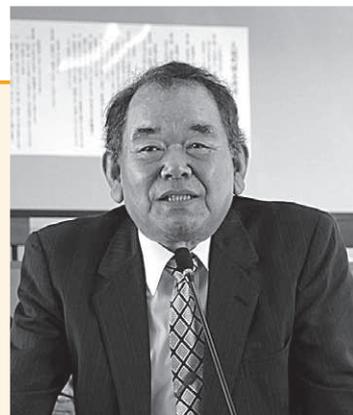
本町の小中学校で体罰はなかったか伺う。

教育課長 県教委の指導の元、体罰禁止の徹底、及び体罰に係る調査を禁した。第一次報告、第二次報告の調査を行った。第一次報告については確認されなかった。第二次報告は、まだわからない状況である。



「ごみ減量化のため 堆肥工場をつくれ」

環境水道課長 堆肥工場の必要性についても検討したい



桑 畑 浩 三 議員

問

ゴミ減量化をはかり、地下水の汚染を防ぐために、家庭の残滓、牛豚のし尿を集め、完熟堆肥化する堆肥工場をつくれ。

環境水道課長 堆肥工場の必要性についても検討したい

町長 町は今、生ゴミ処理機の購入補助や剪定クズの堆肥事業に取り組んでいる。

五本松団地を公園化せよ

問

五本松団地は町の中心部。敷地を更地にして、公園化をはかり、その中に総合体育館をつくれ。

町長 五本松団地は、町の中心部にある魅力ある土地である。他用途への活用を含めて考えていきたい。今後、入居者の意向や町財政状況を踏まえながら、周辺団地も含めた計画、方策を考えていきたい。

よかもんやの経営状況は

問

よかもんやは食堂が閉鎖し、店長も辞めたと聞く。幹線道路に面しておらず、そもそも立地に無理だったのではないか。スーパー等に品揃えも値段もかなわないとい

う状況では、今後の運営は厳しいのでは。

産業振興課長 平成22年度は前年に比べて、売上で一割減、来場者も二割の減。23年度は前年変わらず、24年度は前年より一割減。しかし、販売員を減らし収支は改善しつつある。

三股駅に踏切を

問

三股駅は急な階段である。車椅子は使えず、年寄りにもきつい。踏切を作るべきだ。

産業振興課長 JR側と話し合いたい。

公共下水道の見直しを

問

公共下水道の工事は現在役場と三股小を結ぶ線まで進んできているが、町にとつてその財政負担は重くなつてきている。現在の負債と加入進捗率はどうなっているか。

担当課長 負債については、現在約20億円で、加入率は45%となっている。

問

ここで一旦立ち止まり、この事業については冷静に検証す



三股駅とよかもんや



剪定くず処分場

べきである。私は昨年見直しを提案したが、どうなったか。
町長 今後どうすべきか、見直しを検討している。

「いじめ等防止条例」の 制定はできないか

町長 全国の取組み事例を
参考にしながら検討する



堀内義郎 議員

問

昨年より、全国的にいじめや体罰が問題になってきているが、この事は学校だけに限った事ではなく、他でも起こりうる問題である。地域社会が一体となり組織的に取り組めるように条例制定が必要ではないか。

町長

最近、全国的に学校現場でいじめ問題が課題となっている。子供の心と命を守ることを目的に、学校、保護者、行政、住民、事業者の責任と取組を明確にした子供のいじめを防止するための条例が各地で制定されている。学校内だけでなく、地域社会では高齢者虐待やDV等が大きな社会問題となっている。いじめ防止の観点から、条例の是非については、全国の取組事例を参考にしながら検討する。

元気の杜の会議室を利用開放すべきでは

問

町内の各団体が、お祝い事などの催し物を行う時、元気の杜の会議室を利用できるように開放すべきではないか。

福祉課長

使用禁止事項を守る条件で貸し出しを行っているが、飲食を伴う会議の貸し出しについては、2

年前より全面禁止している。しかし、「食事だけでもさせてもらえないか」との要望が多数あり、交流をはかる上で食事は大切であると思われる。使用する団体の責任において部屋を汚さないなど、全てのごみを持ち帰るなどの確約をとり、貸し出す方向は出来ないか社会福祉協議会と協議していきたい。

TPP交渉参加による本町の農業への影響と対策は

問

交渉参加により、農業で特に畜産業が過大な影響を受け、今後の経営が危惧されるが、対策はとられているのか。

町長

平成22年度に県が行った農業産出額による試算では、肉用牛及び乳用牛で約90%、豚で約79%、鶏で約55%の減少と見込まれている。国の試算想定では、肉質3等級以下の国産牛肉が外国産に置き換わり、肉質4・5等級の国産牛肉は残るとされている。

本町においてはTPPの参加にかかわらず、和牛においては新生産技術推進事業や優良家畜導入事業等を活用し、血統の良い牛を導入することで、肉質の更なる品質向上を目指



希望いっぱいの三股西小入学式

したい。米や野菜などの農産物においては、6次産業化への取組みやフードビジネスへの参入などを検討し実施するとともに、安全と安心な農産物の生産を推進していきたい。

「空き店舗活用の対策は」

町長 町の活性化に結びつけ
検討していきたい



佐澤靖彦 議員

問 現在厳しい経済の中、大型小売店の進出により、歴史のある町内店舗の閉店が多い。空き店舗を利用してどのような対策を考えるか。

町長 本町での大型小売店舗の立地に伴い、昔ながらの小売店舗が閉店されているのが目立ってきている。特に中央部にかけての閉店が多いようだ。

町としては、商工会と連携しながら、空き店舗の調査を実施し、再利用が可能な空き店舗については、例えば、町内企業のアンテナショップ、観光協会等、又は新規出店希望者への紹介等、誘致等にも考えられる。様々な活用方を模索していくことで、町の活性化に結びつけていけないか、商工会と協働して検討していきたいと考えている。

ものづくりフェアの事業は

問 具体的にどのような形態で、いつ頃計画し、規模はどのくらいか。

産業振興課長 自立と協働で創る町づくりを目指し、商工業の振興と活性化を図る場や三股町をPRする場として開催するものである。形態は、

陶芸に限らず木工品や布製品などすべての工芸品に関して、町内外から出店を募り、一同に販売するものである。時期的には今年度6月を予定している。来場者数は一万人を見込んでいる。この形態によるイベントは、「九州初」の試みとなるものである。

地産地消事業や特産品の開発は

問 開発をしている地産地消事業や特産品のその後の展開は。

町長 地産地消事業では、町農畜産物利用地域活性化推進協議会を窓口に進捗している。学校給食用メンチカツの開発を行い、県内の学校給食や宮城県への支援を行った。新しい商品ではサトイモコロケの開発等がある。また、都城東高校調理科の生徒を対象に、三股町産牛肉、甘しょ、生姜の加工品を使った地産地消料理コンクールを開催している。

特産品の開発は、新規野菜として「プチヴェール」を特産品化し、調理方法や加工品の開発を行い、知名度のアップを図りたい。



- ①料理部門優秀賞
「ビーフストロガノフ・ロール」
(山内美樹さん)
- ②デザート部門優秀賞
「おさつのなんちゃって大福」
(川崎貴紀さん)
- ③食品加工部門優秀賞
「ジンジャーババロア」
(上西真優さん)



東高校にて開催された地産地消料理コンクール

「蓼池都市下水路の 汚染対策は」



福永 廣文 議員

環境水道課長 汚染源の特定に 努め、徹底指導する

問

蓼池集落の中心部を流れる都市下水路は、家庭排水と、工場関係の排水とが混ざり合っており、異常な汚染状態だ。水路出口付近の住民は、異臭に悩まされている。この汚染源をつきとめ改善への対策は。

環境水道課長

蓼池都市下水路は雨水対策を目的に設置された施設で、集水した水が一気に河川に流れ込まないように設計されている。水が長い間滞留してしまい腐敗するなどの現象が見られる。

周辺の事業所を対象に今年1月実施した「排水に関するアンケート」の結果を分析し、汚染源の特定に努め徹底指導する。

公共事業の落札率は

問

議会の議決を要しない予定価格5千万円以下の工事の入札で、24年度の予定価格の落札率は。

町長

入札件数が86件、落札率は95.15%となっている。

問

予定価格5千万円以上と以下では、落札率で10%程度の差がついている。健全な町内業者の育成をどう考えるか。

町長

5千万円以上の工事は、大型

事業がおもである。金額が大きいため落札率が低くても利益額は確保できると思う。5千万円以下の土木工事は金額が少ないため、それなりの落札率となっている。競争性公正性のなかで品質も確保されると言うことで地場産業育成を計っていきたい。

要望

緊急な災害が発生した場合の復旧工事等には、町内の建設業者が欠かせないと思う。町内業者の健全な事業への配慮を願う。

マイナーな競技にもスポーツ振興の助成を

問

県代表として全国大会に出場しても、今の助成措置では該当しない競技がある。アスリートタウンの三股町であれば、マイナーな競技であっても助成し応援すべきではないか。

教育課長

中学校の部活動を活性化するため経費の支援として補助金を設けている。県の補助となる大会や部活動以外、および中体連が主催する以外のスポーツ大会には適用していない。一方、平成14年度から町内のあらゆるスポーツの振興および競

技力の向上を目的として、「三股町スポーツ大会参加等激励金」を創り、激励金を交付している。

問

対象外の競技にも激励金が受けられるよう規約の改正はできないか。

町長 町がどのような形で応援できるのか、今までのルールをふまえながら検討する。

EM 活性液の無料配布
(役場玄関口)

汚染問題でゆれる野々木川

「町民に解り易い 予算資料の作成を」



指宿 秋 廣 議員

町長 新規事業に 限らず作成したい

問

本町が行っている、町民向けの独自の補助・助成の見やすい冊子を作成して、広く町内に広報する考えはないか。

町長

三股町の予算の構成や「まちづくり」がどうなっているか、また方向性をホームページ・回覧板以外に全事業を冊子で解り易くまとめたものを作成したい。

外部評価制度やパブリックコメントの位置づけは

問

今議会であった、施政方針で「町民の審議会等への登用のほか、パブリックコメントの実施など、町民の意向や創意と工夫が活かされた行政運営に努めてまいります。」と言われたが、パブリックコメントの位置づけについて、町長はどのように考えているか。

町長

外部評価制度やパブリックコメントは、専門的な視点や町民視点からの直接の意見等であり、このような意見の把握は非常に重要であると考えている。

様々な意見を聴取し参考にしながら、施策を取りまとめ、議会に提案し、自治公民館や各種民主団体の皆様との協働により施策を実施した

い。

また、議会との位置づけについては、地方自治はあくまでも町長、町議会議員を住民の代表とする間接民主主義が原則です。従って、町民の参画によって行政の責任が軽減されるものではありませんし、町民を代表する議会が住民自治の実現の大きな柱である。

PM2.5の住民への周知はどうしているか。

問

PM2.5の瞬間値が基準を越えたと報道されているが、今後基準を越えた場合は、どのような方を講じる考えか。

環境水道課長

基準を越えた場合の注意喚起の周知方法としては、県から本町への連絡は、総務課へファクシミリで送信される。その後、福祉課は各保育園へ、教育課は各小中学校等へ連絡し、住民等への注意喚起は防災無線を通じて行う。

国の地方交付税削減に対する町の見解は

問

今、国は地方自治体の財源である地方交付税を一方的に削

減しようとしている。そもそも、いまままでに地方は財政削減に最大限努力しているのに、全国地方6団体(知事会・県議会、市長会・市議会、町村長会・町村議会)は、反対をしているが、地方自治体の固有の財源である交付税を削減することを町長はどのように考えているか。

町長

今回の強制的に給料削減を目的とした交付税削減は、遺憾に思っている。地方の事は地方で決めるという、地方分権の流れからいっても如何なものかと考えている。



県のホームページでも公開されているPM2.5

「障がい者就労施設等に 受注機会の増大を図れ」

町長 施設としては町内に3ヶ所ある。
出来るところから実施する



池田克子 議員

問 「障害者優先調達推進法」が4月1日より施行される。国や地方公共団体等が率先して、障害者就労施設等からの物品等の調達を推進するための法である。調達の方針を策定したか。

税務財政課長 町内の施設や近隣の施設の内容を考慮しながら、今後早期に策定していく。

問 今回の法整備の意義をどうとらえているのか。

町長 町内では施設や作業所が3ヶ所ある。方針がなくても出来るところから実施していく。

問 当初予算の社会福祉費に配食サービス事業委託費約364万円がある。発注先は都城のある会社となっている。委託先を調査して実施すべきではないか。

福祉課長 町内の事業所もあることから今後検討していく。

問 社協や関係団体との連携も必要ではないか。

税務財政課長 担当課を通して周知を図り進めていく。

問 障がい者就労施設や在宅就業者等への周知の方法は。

税務財政課長 ホームページや広報で周知し、町内の施設等には、必要に応じて直接連絡する。

防災資格者の増員を図れ

問 防災計画のなかに効果的な防災対策として住民や職員の防災知識の普及・啓発・防災訓練の実施が必要とある。住民が防災知識を得る手段の対策は。

町長 「三股町防災マップ」を全戸配布。土砂災害全国統一防災訓練と講座を実施。「広報みまた」で防災特集を掲載。情報の提供と対策に万全を期していく。

問 全地区に自主防災組織があるが住民は周知しているのか。防災組織のあり方を指導すべきでは。

総務課長 全地域に知識の啓発をしていく。

問 職員の防災研修内容は。

総務課長 毎年「土砂災害における全国統一防災訓練」を実施。今年度

は、地震発生を想定した緊急連絡訓練を実施。

問 職員の意識向上への指導は。

町長 実践的な訓練をしながら問題点を把握し、次に生かしていく。

問 防災士養成研修への参加を職員を含めた関係各位に啓発をしては

総務課長 防災士は、災害発生時に共助の重要な役割を担う。募集の周知と資格取得者の育成に取り組む。

問 小林市では、取得者の目標を100人に設定している。当町も目標を明確にしては。

総務課長 目標設定の必要を感じる。地域の方々にながしていく。



福祉作業所『そら』の皆さん

追跡

レポート

あんた
どげんなったな?



霧島南部地区広域農道の整備

大型車の通行増加に伴い舗装道路の傷みが激しいが、今後の舗装整備について

平成 24 年 9 月定例議会

一般質問

町長答弁

今後、広域農道については、財政状況を踏まえ年次的に整備していく計画です。

こうなりました

舗装工事の終了した広域農道。



三股小の児童数減少対策

塚原住宅の入居やその跡地を分譲する際に、子育て世帯を優先させる事はできないか問う。

平成 24 年 9 月定例議会

一般質問

町長答弁

間取りで子育て世帯向きとなっており、子育て世帯の優先入居の方向で取り進めたいと考えている。

こうなりました

32世帯の入居契約者の中から、三股小学校への入学等の対象児童が44名ありました。真新しい塚原団地 B棟



梶山棒おどりの様子

議会事務局からの
お知らせ

6月議会は、
6月10日からの予定
町民の方の多くの議会傍
聴をお待ちしています。



上 米

自治公民館

【上米地区は】

上米公園があり、春には桜見、四季折々の自然にかこまれた公園や、パークゴルフの施設など町民憩いの場所となっています。

大村一平館長



「祈念行事」

地域で支える



中 米

自治公民館

【中米地区は】

樺山地区の中央にあり、2地区交流プラザ体育館や地区公民館、として役場、小中学校、保育園も近く住みやすいところです。

内村敏明館長



自治公民館を中心に、子ども会、壮年会、地域活動クラブなど、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよいまちにしましょう。

自治公民館加入案内
三股町・三股町自治公民館連絡協議会
電話 52-1111 内線 181



編集後記

政策は予算にあらわれる

三月議会は、その一年の計を図る重要な議会である。92億円の予算で、今年一年三股町は運営することが決まった。当局は予算の執行にあたっては、無駄遣いをしないよう常に心がけてもらいたい。公共下水路工事が着々と進んで来たが、その負債はすでに約20億円に膨らんでいる。ここで町はいったん立ち止まり、冷静に今後の計画を検討することになった。公共工事は手がけたら止まらない悪癖がある。かつて当議会は入札も済んでいた文化大ホールを止めた経験がある。今後とも議会はチェック機能を発揮していきたいものだ。

議会広報編集常任委員会



- 委員長 池田 克子
- 副委員長 堀内 義郎
- 委員 桑畑 浩三
- 委員 池邊 美紀